

# IBM Tivoli Decision Support for z/OS

**Tivoli.** software



IBM Tivoli Decision Support for z/OS は、システムのパフォーマンス・データを相関させることができる柔軟性の高いレポート作成ツールで、IT 投資の経済的効果の向上を支援します。

ホストおよび分散システムのパフォーマンス・データ用の一元化されたデータ・ストアにより、全社的な IT 情報へのアクセスを容易にし、次のようなシステム管理上のメリットを実現します。

- パフォーマンス・レポート、キャパシティ管理、リソース・アベイラビリティ管理、および課金とチャージバックの企業ニーズに対応します。
- 標準的なシステム管理用ロー・データを収集し、DB2 データベースに編成して、ビジネス関連情報に変換し、組織での運用計画、コスト管理、対応能力、および意思決定処理の改善を支援します。
- 企業内のさまざまな部署間で重要な情報を通信および交換するためのカスタマイズ・レポートを生成します
- 必要に応じて、新しいデータ・ソースを収集およびデータ統合プロセスに追加できます
- 中央制御およびパフォーマンス・レポート機能の効率性の維持を支援します



Tivoli Decision Support for z/OS V1.7.1 で新たに加えられた機能拡張には、大量データ処理の高速化と管理の向上、使いやすさの向上と円滑な実行、IBM DB2 V8 と z/OS V1.6 のサポート、および CPU とトランザクションの詳細を提供する IMS 機能の拡張などがあります。別個に利用可能な Accounting Workstation コンポーネントを使用することで、z/OS データ収集ソリューションによるデータ分析の柔軟性が高くなります。

Tivoli Decision Support for z/OS V1.7.1 は、CICS、NPM、IMS、MQSeries®、RMF、DB2®、Linux/390、WebSphere Application Server for z/OS、IBM Tivoli Monitoring for Network Performance を始めとする、幅広い範囲の z/OS、390 データ・ソースの最新サポートを提供しています。他にも、OS/400、HP-UX、LINUX (SuSE と Red Hat) などのデータ・ソースがサポートされています。

Java™ コンソール (「ビューアー」) は、TDS on z/OS 1.7 製品には組み込まれなくなりました。このビューアーが必要な場合は、次のサイトから同様な機能を有したものを入手できます。ただし、このビューアーは IBM ではサポートしていません。

- [Java コンソール \(ビューアー\) のダウンロード](#) (4,989 KB)
- [Java ランタイム環境のダウンロード](#) (49,977 KB)

IBM Tivoli Decision Support for z/OS は、基本製品および次の個別機能から構成されます。

- システム・パフォーマンス (AS/400 および分散システム・パフォーマンスを含む)
- ネットワーク・パフォーマンス
- CICS パフォーマンス
- IMS パフォーマンス
- 課金機能
- [Accounting Workstation](#) (別製品 ID 5698-A42 で入手可能)

このような機能ベースのアプローチにより、Tivoli Decision Support for z/OS は、ユーザーが現時点で必要な機能のみを選択できるようにするだけでなく、ビジネス・ニーズの変化に合わせて企業が成長できるようにするための応用利用と独自化にも対応しています。

Tivoli Decision Support for z/OS は、特にパフォーマンス・アナリスト、キャパシティー・プランナー、および課金とチャージバックを行うアナリストを対象としています。システム全体の全社的な信頼性と効率性を確保し、最終的に IT 投資の経済的効果を向上させるために、アナリストが IT のビジネス価値を測定し、評価できるようにするための情報を提供します。

機能、説明、利点		
機能	説明	利点
ユーザー定義ログの収集	各種プログラムからシステム管理ログを収集して処理し、データベースに格納します	具体的なニーズに合わせて既存データの収集を変更できるので、Tivoli Decision Support for z/OS でサポートしないシステム管理データのログ収集も可能です
包括的な管理制御	機能のインストールとカスタマイズ、ログ/レコード定義の処理、ログ・データの収集、およびテーブルの処理を実行できます	中央制御を維持し、パフォーマンス・レポート機能の効率を最大化できます
ホスト (3270 インターフェース) からのカスタマイズ可能なレポート機能	使いやすさ、指示照会言語、レポート向けのフォーマット・オプション、および組み込みのレポート・ジェネレーター	具体的なニーズを満たすレポートを作成できます。組織に固有のレポート手法と共通するレポート手法を導入することで、ビジネスを効率化します
柔軟性の高い機能セット	カスタマイズ可能な拡張および特殊化されたレポート機能を提供します	プラグイン・アプローチにより、現時点で必要な機能のみを選択できると同時に、ビジネス・ニーズの変化に合わせた企業の成長を実現します